

授 業 概 要

(こども保育科)

授業のタイトル (科目名)	授業の種類 (講義・ 演習 ・ 実習)	授業担当者	当該科目に関する実務経験
		風間 章子	
		廣野 仁美	
授業の回数 15 回	時間数 (単位数) 30 時間 (1 単位)	配当学年・ 時期 2 年・後期	必修・選択 必修

[授業の目的・ねらい]

- ・ 保育の音楽表現Ⅰ～Ⅲまでに学んだコードやカデンツを使って弾き歌いが出来るようにする。
- ・ 簡単なメロディーにカデンツ伴奏をつけられるようにする。(コードネームを見てつける)
- ・ 童謡を演奏できるよう技術をさらに身に付ける。
- ・ 個々の力に合わせ、バイエルやブルグミュラーなどを使い、さらに演奏力を向上させる。

[授業全体の内容の概要]

- ・ 全員での授業では、スケール、コード、カデンツを弾き、弾き歌いを行う。
- ・ 個人レッスンでは、個々の力に応じて、さらに技術や表現を向上させる。

[授業終了時の達成課題 (到達目標)]

- ・ 「楽典入門」で学んだ楽典の筆記試験
- ・ スケールとカデンツを使った伴奏付けの実技試験
- ・ 童謡の両手奏と弾き歌いの実技試験
- ・ バイエルやブルグミュラー等、個々のレベルに応じた実技試験

[授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法] (集団レッスンの内容)

【楽典学習内容】	【ピアノ実技内容】	【経験する演奏コード】
1	1・おかえりのうた	1・ハ長調、ト長調、ニ長調
2	2 ↓ やきいもグーチーパー	スケール、コード、カデンツ
3・伴奏付け、ハ長調、ト長調	3 ↓ ↓	2・↓
4 ↓	4・おばけなんてないさ ↓	3・↓
5 ↓	5 ↓ ↓	4・↓
6 ↓ 伴奏付け、ハ長調	6 ↓ ↓	5・↓
7 ↓ ↓	7 ↓ ↓	6・↓ ハ長調、スケール、コード、カデンツ
8 ↓ ↓	8 ↓ まめまき	7・↓ ↓
9 ↓ ↓	9 ↓ ↓	8・↓ ↓
10 ↓ ↓	10 ↓ ↓	9・↓ ↓
11 ↓ ↓	11・いちねんせいになったら ↓	10・↓ ↓
12 ↓ ↓	12 ↓ ↓	11・↓ ↓
13 ↓ ↓	13 ↓ ↓	12・↓ ↓
14 ↓ ↓	14・ 試験練習	13・↓ ↓
15 期末試験	15・ 期末試験	14・↓ ↓
		15・ 期末試験

[使用テキスト・参考文献]

- ・「楽典入門」(k m p)
- ・「幼児のための音楽教育」(教育芸術社)
- ・五線ノート
- ・バイエル
- ・ブルグミュラー25の練習曲

[成績評価の方法と基準]

教科出席率が80%以上の者に対して、以下の配点による総合点を算出し、学内共通の基準による絶対評価を行う。

- ・ 考査点(75%)
 - ・ 到達目標の修得状況を測るために、筆記及び実技試験により期末考査を実施する。
- ・ 平常点(25%)
 - ・ 事前課題を期限までに提出し、その内容が課題に沿ったものである。
 - ・ 授業に積極的に参加し、周囲と協調しながら自らの向上を図っている。